

令和2年度第2回府中市環境保全活動センター検討調整会 議事録

■日 時：令和2年7月20日（月）午後1時30分～2時45分

■場 所：本庁舎8階 会議室A

■出 席：（敬称略）

（委員）（8名）室 英治、塚原 仁、山田 義夫、増山 弘子、表 伸一郎、
六波羅 昭、小西 信生、成瀬 こずえ

（事務局）（2名）桑田 浩、塚原 二郎

■欠 席：（敬称略）

（委員）（1名）内山 雄太

■議 事

2 報告（進行の都合から報告よりはじめた）

まず、コロナ感染症予防対策として本日も会議は1時間程度を目標として議事を終えるように、簡潔に進めたいので、ご協力をお願いします。

(1) 令和2年度第1回検討調整会議事録の要点の確認。何かあれば次回に指摘をする。

(2) コロナ感染症予防対策に伴う環境保全活動センター事業の影響について。

センター事業は、今のところ9月から開催する予定でかんきょう塾の案内を作っている。また、打ち水について、今年は自宅や近所で数人の方でやりましょうという内容で案内をしている。

コロナ感染症の影響で事業が中止となった場合の連絡はどのようになっているのか。かんきょう塾の場合は、直前であっても受講生に連絡をする。また、受講生、関係者を含め30名程度で、会場が100名収容できるので密にならず、換気、マスク、消毒などの対策を実施することで現状では実施できると考えている。コロナ感染症の対応について活動センターの対応指針を出すように。

今回は講座回数が少ないので第4回目の閉講式では修了証ではなく参加証を出すようか。証書の見本を作ってみる。また、関係者の中で受講生をもう少し募集を試みる。当日参加についても、全体として10名程度の増であれば受け入れできる。市民一斉メールを流すことも検討してみてもどうか。

(3) その他

・前回も話したがコロナ禍においては、委員会の出席にあたって自宅で検温するなど、我々が市民の手本となるようにしたい。委員会の知らせにコロナ感染症対策について具体的な内容を入れること。

・下堰緑地の会が東京都公園協会賞を受賞した。同じ自治体から3回連続して受賞したことは極めてまれなことと聞いた。コロナ禍の関係で今年は授賞式がないため、市長に報告に行くと言っている。3回のどの受賞者も、当活動センターに係るグループ、団体である。活動センターの活動の成果と考えられる。

1 議題

環境保全活動センターの今後のあり方等について

⇒ 市長への報告はいつごろになるか。8月後半となると次回の検討調整会の後になるか。

あり方、要望書については、ほぼ前回のままである。

変更、追加点としては、あり方の方が13ページの図について前回話のあった3パターンを別紙に作りました。また、2ページの「これまでの経緯」について委員からの修正は別紙とおり、4ページの用語については増やすようにと意見があった。そのほか、SDGsに関する活動を加える、センターの活動成果を盛り込むといった意見もあった。これらの追加・修正を次回までにペーパーにして用意する。なお、本日の話も含めご意見のある方は、8月2日までに事務局へメールすること。この分を含め修正する。

13ページの図については、これまで基本計画などで推進体制図としてきたものと区別するもので、環境パートナーシップに特化したものとする。この中の市民が「活動をする市民」なのか「環境学習などを受ける市民」のどちらか区別がしにくいとありましたが、これはあくまでも環境活動を行うための環境パートナーシップなので、環境活動などを行う市民、市民団体を指す。このほか指示のあった内容を図に反映しメールで再度送ること。

このあり方の資料については良くできているので、市の他の部署にセンターを説明する際にも使えるのではないかと。せっかく苦労して作ってきたのだから有効活用したらどうか。

令和3年度の予算にセンター移転に関する予算を、是非、入れてもらうように担当課としてもそれなりの覚悟を持ってあたっていただきたい。

3 その他

・コロナ感染症に関連して、今後、非常事態宣言が再度でることも考え、オンラインで会議ができるようにできないか。これについては、各委員の

通信環境や事務局の通信環境の整備が必要になると考えられる。特に事務局の通信環境はセキュリティーの問題で、一般役な通信ソフトが使えないなど制約が多く難しい状況である。しかし、状況が悪くなると委員会が開催できなくなるので、何か変わる方法など情報を集めておく必要がある。今後はこのようなリスクに対応できるように備えるようにしたい。

・あり方資料の最後のページにあるマークは何か。環境まつりの際に配布するための缶バッチ用に作ったもので、正式なものではない。今の英訳にある「activities」は不要でないか。「F E C C」で十分である。また、センターの愛称としては「ひばりセンター」などはどうか。「ひばり」は広く使われそうなので、全国的に使われているか調べる必要がある。このほか良いアイデアを出してください。

・次回開催日程を決める。

■次回開催予定日

令和2年度第3回府中市環境保全活動センター検討調整会

(通算 116 回)

日 時：令和2年8月25日（火） 午後1時半～

場 所：本庁東庁舎8階 会議室B